

(8) 人口ボーナス期間と期間終了時の一人当りGDP

各国の人口ボーナス期間を見ると、欧州各国の期間の短さとインド、南アフリカの期間の長さが目立つ。2010年から20年の間に豪州、ブラジル、カナダ、中国、韓国、ロシアの人口ボーナスが終了し、人口オーナス期に入るが、中国とロシアの場合、すでに人口オーナスに突入している日欧米の各国の終了時の一人当りGDPよりかなり低い状態で人口オーナスに突入する。

出典：国連資料およびIMF資料より東京創研作成

	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020	2030	2040	2050	終了時の一人当り GDP
アルゼンチン				1990	45年				2035			—
豪州	1960	55年				2015						70,305ドル
ブラジル		1965	55年				2020					19,514ドル
カナダ		1965	55年				2020					61,283ドル
中国		1965	50年				2015					7,316ドル
フランス			1970	20年		1990						22,017ドル
ドイツ			1970	20年		1990						19,610ドル
インド		1965	75年						2040			—
インドネシア			1970	55年				2025				9,487ドル
イタリア				1975	15年		1990					20,029ドル
日本	1950	40年			1990							24,774ドル
メキシコ			1970	55年				2025				17,848ドル
韓国			1965	50年				2015				29,714ドル
ロシア					1995	15年		2010				10,438ドル
サウジアラビア			1970	65年					2035			—
南アフリカ		1965	80年						2045			—
トルコ		1965	60年				2025					21,998ドル
イギリス			1975	30年			2005					37,898ドル
アメリカ	1960	45年			2005							42,681ドル